

差別扇動最後まで

宮部氏の街宣に抗議

差別禁止法

を求めて

時代の正体

司法判決や行政勧告を無視して部落差別を続ける極めて悪質なレイシストで、川崎市長選(26日投開票)に立候補している宮部龍彦氏(46)が選挙戦最終日の25



マイク納めの最後まで市民に抗議される宮部氏(中央)
25日、JR川崎駅前

日も街頭演説でデマと差別扇動を繰り返した。

JR川崎駅でマイク納めに立った宮部氏は「LGBTは利権だ」「男女共同参画は達成された」「ヘイトスピーチ条例は廃止する」などと放言。被害を訴えたり、差別解消に取り組んだりすることが不当なものであるかのようになじ曲げ、差別にさらされているマイノリティーを攻撃した。

演説を聞きに来た極右政党・参政党の支持者という女性も部落差別を巡り、宮部氏のうそを指摘する記事を書いた神奈川新聞記者に向かって差別発言を連発した。「日本人じゃない。うその記事ばかり書いて」「日本語が分からないんだ。朝鮮なんかいらねーんだよ」と声を荒らげ、宮部氏の選挙ヘイトとデマによって差別が煽られていることをう

かがわせた。

宮部氏は部落差別は存在せず、被害を訴えているのは利権のためだというデマをまき散らす。2016年、全国5360もの被差別部落の地名リストの出版を企て、インターネット上で一覧を公開。差別で金もつけをする輩行と批判を浴びながら、敗訴後も被差別部落の街並みを有料サイトでさらす投稿を続ける。

川崎市民の小林竜さん(51)は「部落差別で使った手口を外国人などに用いて、卑劣極まりない。人権を守るための条例や施策は被害者が涙を流しながら勝ち取ってきたものだ。選挙を悪用して踏みにじるやり口がとりわけ許しがた」と憤った。(石橋 学)

【おこわり】

川崎市長選に立候補している宮部龍彦氏については、経歴や出馬に当たっての主張に著しい差別的言動があり、差別が拡散する恐れがあるため、異なる扱いとしております。